

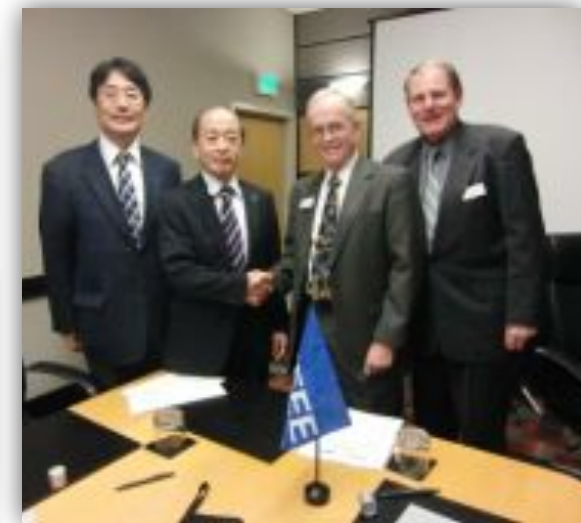
MCPC

今日も会員のために 世界に飛躍する

New Partnership:

The Mobile Computing Promotion Consortium (MCPC) of Japan and IEEE ComSoc are working together to promote their respective training and certification programs in mobile and wireless technology. Both programs are designed to train engineers in mobile and wireless technology to help supply needed expertise for the mobile broadband industry.

IEEEカタログより



◆MCPCと活動内容

目標 世界、特にアジアにおけるMCシステムの先導的役割を果たす

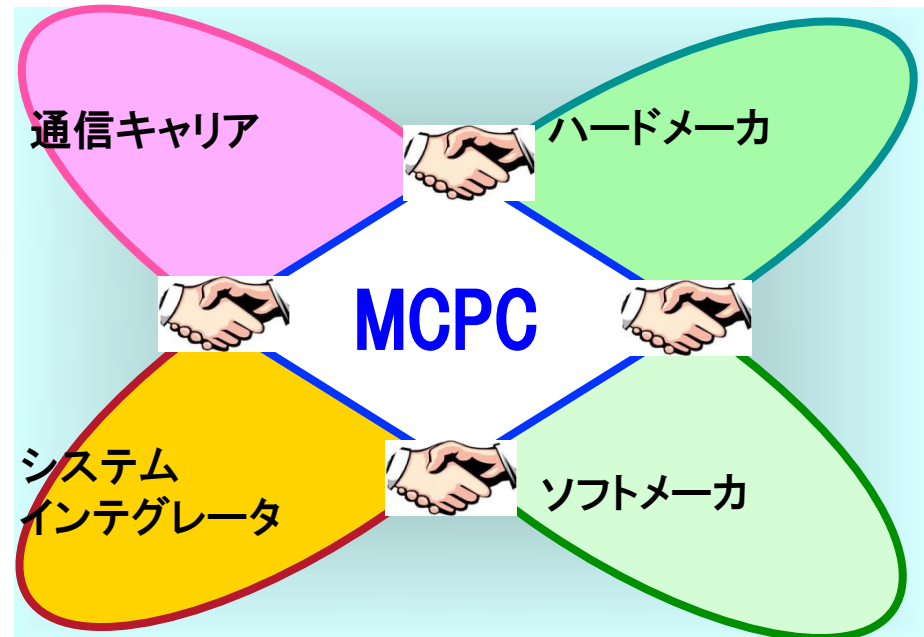
- ◆1997(平成9)年 5月 発足
- ◆(非営利)業界団体
- ◆加盟 2012年9月1日現在 174社

◆設立趣旨

モバイルコンピューティング
(MC)の本格的な発展のために、

- ・通信キャリア
- ・コンピュータ&通信ハード、
ソフトメーカ
- ・システムインテグレータ

が連携し、技術、標準化および制度、運用上の課題を企業間、メーカとユーザ間の枠組みを越えて協力して解決



◆ MCPC活動の概要

端末インターフェイス標準仕様、
車載インターフェイス標準仕様
接続互換性検証
携帯電話のUSBインターフェイス
[Bluetooth Technical Reference](#)
[モバイルセキュリティ調査と新仕様](#)

普及啓蒙

技術活動

ヒューマンネットワークが
新たなビジネスを
発展させます。

人材育成



活用事例集
MCPC モバイルソリューションフェア
スマートフォン普及推進
MCPC アワード
商工会議所連携モバイル活用セミナー
ベンチャー支援(含 海外企業)

モバイルシステム技術検定
(2級、1級、SMC)
モバイル技術基礎検定
スマートフォン・ケータイ実務検定
IEEE WCET
検定対策講習会



MCPC MSEC
モバイルシステム技術検定
IEEE WCET (Wireless Communication
Engineering Certification)

2012年10月
モバイルコンピューティング推進コンソーシアム

MCPC

1. 主旨(目的)

・モバイル(コンピューティング)システム市場の拡大普及

全ての業種、業務にモバイルを活用して即時性を確保し
生産性向上(効率化)、経済性、安全性、システム改善力の向上

・実践力ある、ICTシステムエンジニアの育成

企業国際競争力、ICT国際競争力
(コンピュータ/通信SE、開発者、営業(販売員)、ITコンサルタント、学生)

・最新の関連/(通信/コンピュータ)技術の体系化 学習意欲喚起

- ・学習指導(範囲、程度)の提示、意欲の喚起
- ・教育補助教材
- ・学生を含む若手エンジニア育成

・ICT業界発展への貢献及びユーザへの貢献



2.特徴

1.体系的制度

モバイル、コンピュータのシステム化関連技術の統合的体系化、難易度、範囲、レベル体系、資格更新(SMC)の策定

2.普遍性

公平・平等確保～全キャリア、主要メーカ、インテグレータ、教育会社、グローバル企業の協力、全国レベルでの実施

3.高品質な内容と試験の実施

多数の中核技術者の参画、実践的内容、機密保持、試験実施と合否判定の厳格性

4.継続性

2回/年の実施、テキスト問題改訂1回/2年、各社の認定(教育・人事)制度への組み入れ
合格者への関連最新技術情報などの提供

5.高い評価(推薦と協力)

—NTTドコモ、KDDI、ソフトバンクモバイル、マイクロソフトKK、各社社長推薦、及びIEEEの推薦とIT関連8団体からの普及協力

6.他資格との整合性～「高度IT人材育成」との整合性確保

情報処理、通信及び民間中核資格との整合性の確保

7.合格者に対する継続的技術レベル向上のための情報提供の実施

8.費用の妥当性

非営利団体、テキスト、受験費用、(講習会費用)、情報提供実施などほぼ実費

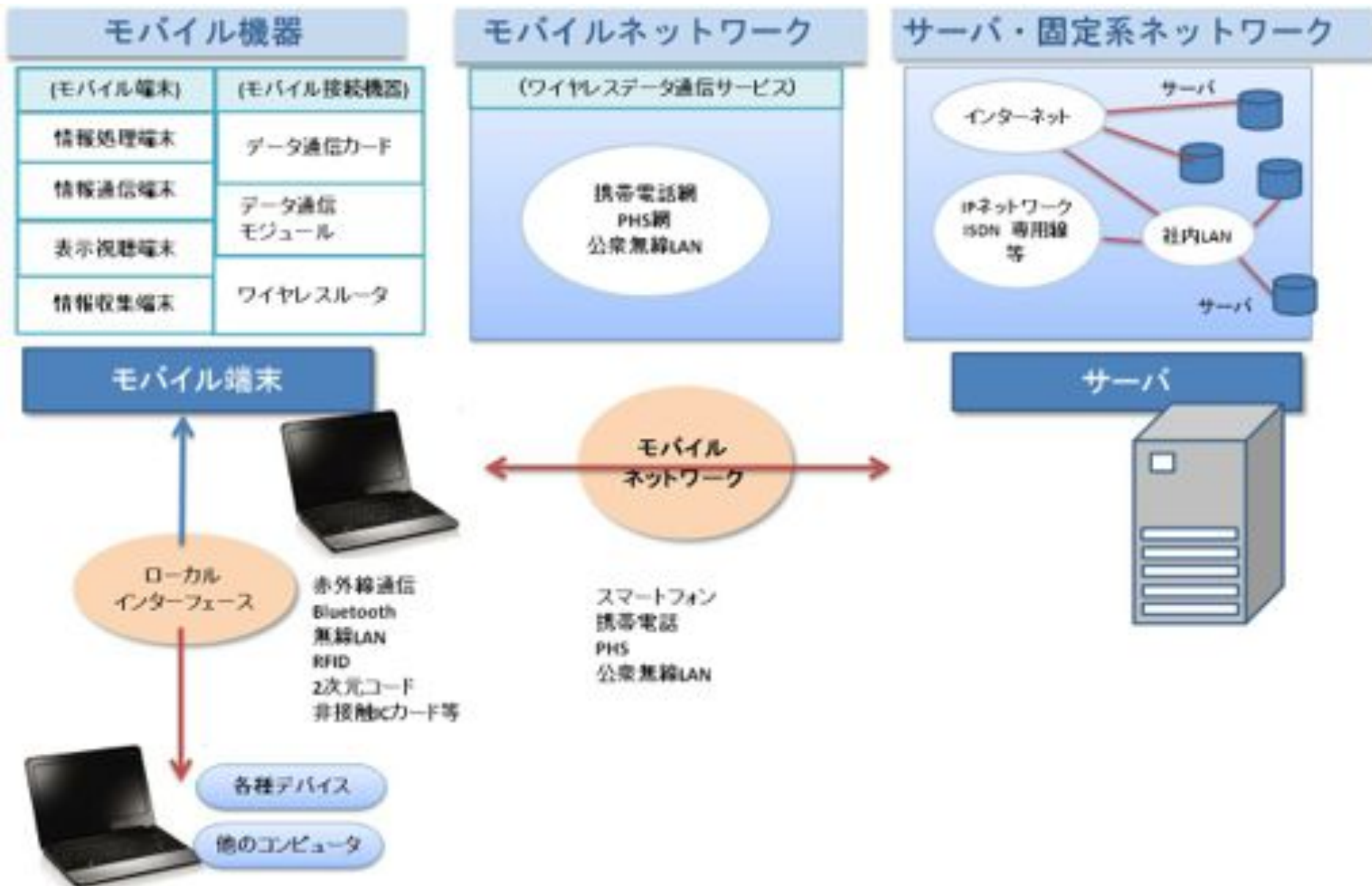
モバイルシステムの特徴

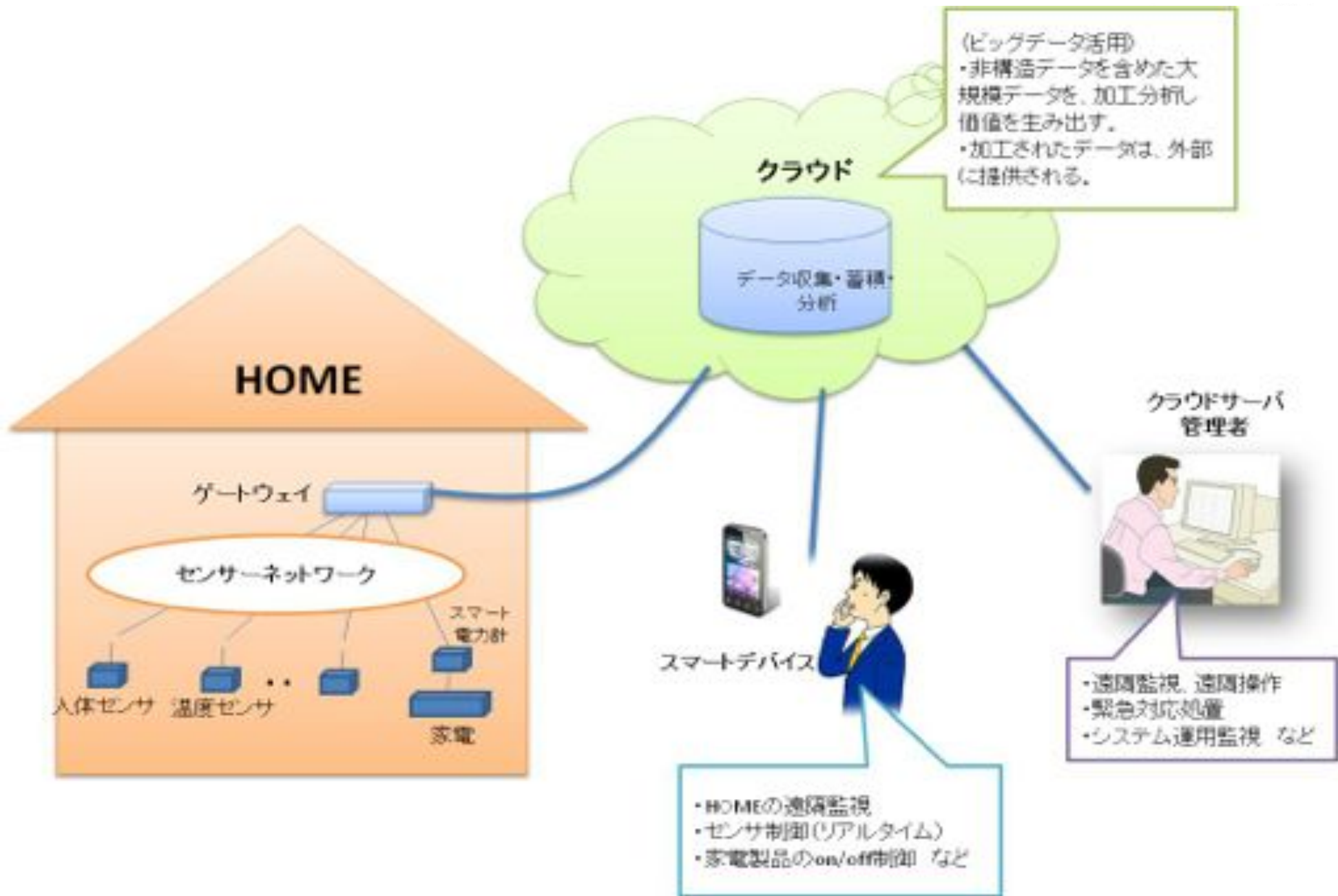
- ・モビリティ
- ・即時性
- ・映像情報(カメラ機能)
- ・位置情報

モバイルシステムの構成要素

- ・ワイヤレスデータ通信
- ・モバイル情報端末
- ・アプリケーション
- ・コンテンツ

◆モバイルシステムの構成要素





業種別モバイル活用用途(逆引きにも使える)

凡例

- ① n は事例の番号
- ② ◆ は市場規模イメージ
- ③ SFA:Sales Force Automation
- ④ FFA:Field Force Automation
- ⑤ M2M:Machine to Machine Communication



業務別モバイル活用用途(逆引きにも使える)

- 凡例
- ① n は事例の番号
 - ② ◆ は市場規模イメージ
 - ③ SFA:Sales Force Automation
 - ④ FFA:Field Force Automation
 - ⑤ M2M:Machine to Machine Communication

ビジネスインフラ WP・表計算 グループウェア 勤怠管理	販売管理/経理 顧客管理 売上・受発注 マーケティング 会計処理	営業/保守 DB検索 プレゼン 報告 電子書籍	研究開発 プロシエ外管理 設計・試作・ 評価支援	生産管理 工程・進捗 在庫・原価・ 品質管理	配送管理 GPS ピッキング 環境管理	現場管理 工事管理 FFE 遠方監視	店舗管理 売上・回収 在庫・陳列 マーケティング ポイント管理
--	---	--	--	--	---	--	--



◆MCPCモバイルシステム技術検定ご紹介

- ① IEEE (ComSoc)からの推奨
- ② キャリア4社、マイクロソフト社長推薦
- ③ 多数(25社以上)の大手企業で取得推奨資格へ認定
- ④ 延べ約35,000人受検(2005年開始～)
- ⑤ 総務省よりITC人材育成で表彰(2007年受賞)
- ⑥ 我が国ICT検定の標準になりつつある
- ⑦ 中国、韓国の政府系機関と検定制度で提携

◆ 推奨資格取得企業の狙い

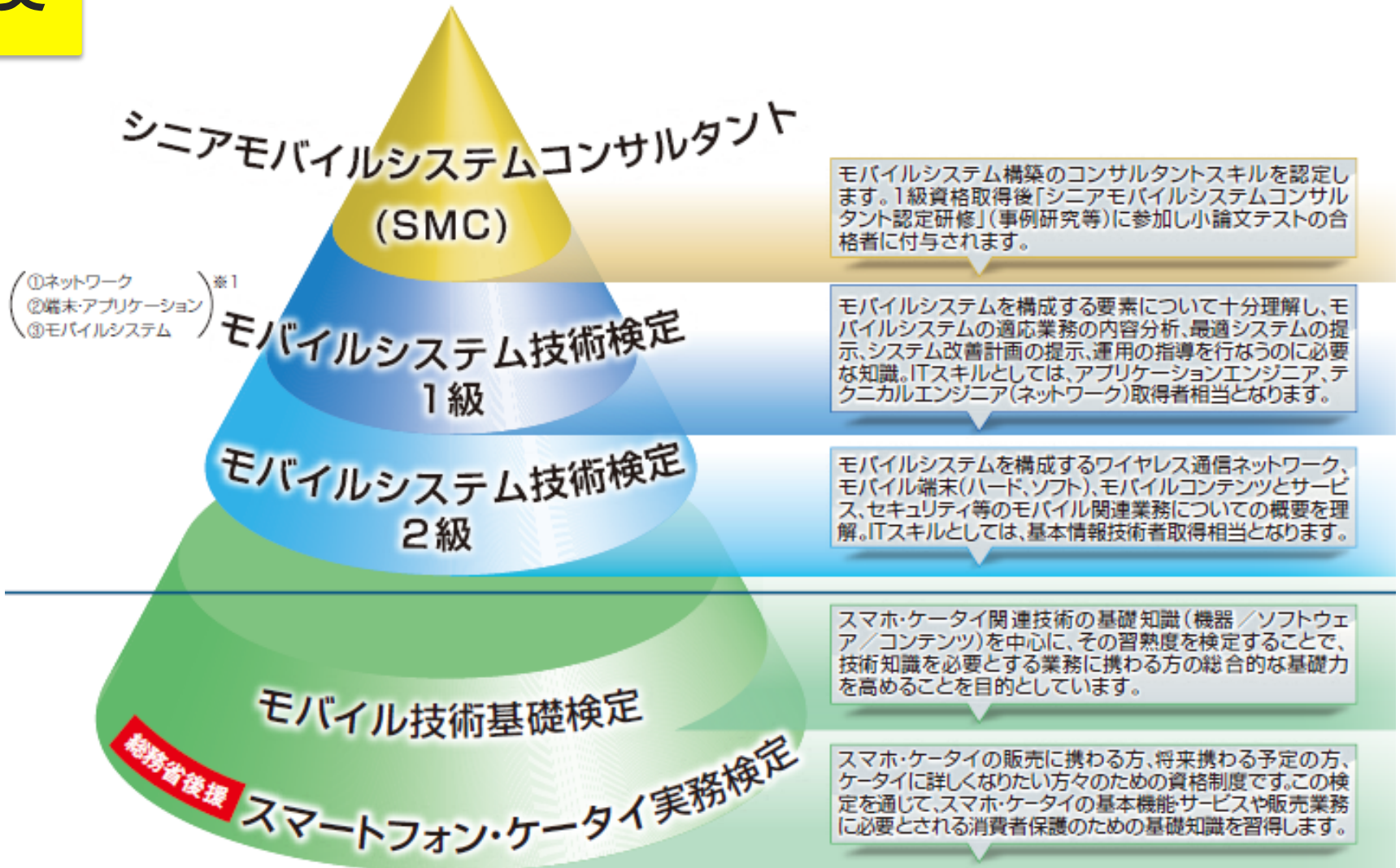
- ・モバイル時代のリテラシー
- ・モチベーション

KDDI、D社、W社、東芝ソリューション、京セラコミュニケーション、アイ・ティー・シーネットワーク、沖電気、CTC、Sh社（部門）、システナなど他多くの会社は受検費用会社負担、一部お祝い金制度あり

◆MCPCモバイルシステム技術検定体系

・IEEEが推奨

人材育成で総務大臣表彰受賞



モバイルクラウドコンピューティング **IEEE** が推奨

モバイル技術基礎検定

第9回実施日 **2013年1月12日(土)**

申込み期間 **2012年10月2日(火)~12月13日(木)**

検定のお申込みはパソコンから ※申し込みは12月13日午後5時(受付終了)までとなります。

<http://www.mcpc-jp.org/kentei/>

- 開催場所：東京・横浜・名古屋・大阪・福岡
- 試験問題：4者択一形式
- 実施時間：10:30~11:30
- 問題数：60問
- 受験料：8,400円(税込)
- 試験時間：60分

受験対象者

- 大学・短大・専門学校の情報・通信関連学科の学生
- モバイル関連企業の非技術系社員
- IT関連企業等の新入社員・試用内定者
- モバイル関連企業への転職希望者・社内配属転換者
- モバイル関連企業新入社員・試用内定者
- 消費者相談窓口の相談員



「注目のICT技術者への第一歩」

安田 靖彦 MCPC会長
(東京大学名誉教授/早稲田大学名誉教授)

「モバイルシステムの発展によってコネクテッドネットワークが現実のものとなり、いつでも、どこでも、必要な情報へのアクセスが可能となりました。」モバイルシステムの特長であるセリビリティ、拡張性、移動性(カメラ機能)、位置情報等を活用して、全ての分野のモバイルシステムの構築、運用およびその効果が認められようとしています。モバイルシステムの構築にはワイヤレスネットワーク、モバイル情報端末、アプリケーション、コンテンツなど構成要素を理解したシステムエンジニア、コンサルタントの活躍が必須です。

「MCPCモバイルシステム技術検定制度」はモバイル業界のトップ、IEEE(国際電気学会)からの推薦をいただきました。また

モバイル基礎検定 只今申込受付中

◆第15回モバイルシステム技術検定

総務大臣表彰受賞
IEEEが推奨

モバイルシステム 技術検定

IT&ICT エンジニア標準資格
既に36,000人以上が受検!

【第15回 検定試験日/1-2級】
2012年11月10日(土)

【試験会場：札幌/仙台/東京/横浜/金沢/名古屋/大阪/広島/高松/福岡】
※会場、試験会場は随時追加いたします。

【申込期間】
2012年9月3日(月)～10月12日(金)

世界をリードするトップが推薦!

世界をリードするトップが推薦! 既に36,000人以上が受検したモバイルシステム技術検定の推薦人を紹介します。

 <p>山田 健二 KDDI 株式会社 技術部長</p> <p>この検定は、モバイルシステム技術の分野において、最新の技術動向を反映した試験内容となっており、企業や教育機関での採用に大きく貢献するものと期待しています。また、この検定は、モバイルシステム技術の分野において、最新の技術動向を反映した試験内容となっており、企業や教育機関での採用に大きく貢献するものと期待しています。</p>	 <p>山田 健二 KDDI 株式会社 技術部長</p> <p>この検定は、モバイルシステム技術の分野において、最新の技術動向を反映した試験内容となっており、企業や教育機関での採用に大きく貢献するものと期待しています。また、この検定は、モバイルシステム技術の分野において、最新の技術動向を反映した試験内容となっており、企業や教育機関での採用に大きく貢献するものと期待しています。</p>	 <p>山田 健二 KDDI 株式会社 技術部長</p> <p>この検定は、モバイルシステム技術の分野において、最新の技術動向を反映した試験内容となっており、企業や教育機関での採用に大きく貢献するものと期待しています。また、この検定は、モバイルシステム技術の分野において、最新の技術動向を反映した試験内容となっており、企業や教育機関での採用に大きく貢献するものと期待しています。</p>	 <p>山田 健二 KDDI 株式会社 技術部長</p> <p>この検定は、モバイルシステム技術の分野において、最新の技術動向を反映した試験内容となっており、企業や教育機関での採用に大きく貢献するものと期待しています。また、この検定は、モバイルシステム技術の分野において、最新の技術動向を反映した試験内容となっており、企業や教育機関での採用に大きく貢献するものと期待しています。</p>	 <p>山田 健二 KDDI 株式会社 技術部長</p> <p>この検定は、モバイルシステム技術の分野において、最新の技術動向を反映した試験内容となっており、企業や教育機関での採用に大きく貢献するものと期待しています。また、この検定は、モバイルシステム技術の分野において、最新の技術動向を反映した試験内容となっており、企業や教育機関での採用に大きく貢献するものと期待しています。</p>
---	---	---	---	---

協力
IEEE(国際電気電子学会) / (株)情報処理推進機構 / 株式会社情報処理推進機構 / 日本プロジェクト・マネジメント協会 / 株式会社情報処理推進機構 / ITコーディネータ協会 / (株)企業情報推進協会 / (株)電子情報技術産業協会 / (株)情報処理推進機構 / (株)日本コンピュータシステム / (株)情報処理推進機構 / (株)情報処理推進機構 / (株)情報処理推進機構

MCPC 株式会社
〒108-0011 東京都港区三田 3-13-10 3F
http://www.mcpc-jp.org/

MCPC 検定事務局
TEL: 03-6457-1420
e-mail: msc@mcpc-jp.org

【受検料】 第1級検定 科目別受検料 ※科目別受検料は別途記載しております。
●ネットワーク 10,500円(税込)
●端末・アプリケーション 10,500円(税込)
●モバイルシステム 10,500円(税込)
全3科目一括受検料 25,200円(税込)
第2級検定 14,700円(税込)

公式テキスト MCPC監修
モバイルシステム技術テキスト
※最新内容、わかりやすい。
※教科書として活用いただけます。

第4級 モバイルシステム技術テキスト
工学パート編
(モバイルシステム技術検定試験1級対応)
モバイルシステム技術検定試験1級対応
第4級 モバイルシステム技術テキスト
システムパート編
(モバイルシステム技術検定試験2級対応)
モバイルシステム技術検定試験2級対応

【1級】科目別主要出題カテゴリ
1科目 40問(36問選択式、4問記述式)60分

【2級】主要出題カテゴリと出題比率(%)
100問(選択式)100分

ネットワーク	モバイルシステムの構成要素 ネットワーク	15%	ワイヤレス通信の 構成要素	15%
端末・アプリケーション	モバイルシステムの構成要素 端末・アプリケーション	25%	モバイル システム	20%
モバイルシステム	モバイルシステムの構成要素 モバイルシステム	5%	モバイルシステム の構成要素	20%

認定校による対策講座開設!

1級・2級受験に必要となる対策講座の受講をオススメします。モバイルシステム技術の一次試験による合格者

(株) KDDI 株式会社 KDDI http://www.kddi.com/	(株) 日立インフォメーション システムズ HITACHI http://www.hitachi.com/	NEC http://www.nec.com/	(株) エム・ワイヤード EM-WAYD http://www.em-wayd.com/
---	--	----------------------------	--

http://www.mcpc-jp.org/kentei/

検定要領の最新版、テキストの購入、登録情報照会等に対応して、MCPC検定事務局ホームページでご確認ください。
MCPCモバイルシステム技術検定試験1級/2級/3級/4級の受験料は別途記載しております。

11月検定 只今申込受付中

◆モバイル基礎検定 出題範囲

- スマートフォン・ケータイ市場に関する知識
- スマートフォン・ケータイ(商品/サービス)の知識
- コンテンツとアプリに関する知識
- 通信/通話の仕組みに関する知識
- インターネットに関する知識
- モバイル機器のハードウェアとソフトウェアに関する知識
- 情報セキュリティに関する知識
- 消費者保護に関する知識(製造者/販売者の責任など)
- モバイル関連最新サービス

◆1級、2級出題範囲

[1級]科目別主要出題カテゴリ

1科目 40問(36問選択式、4問記述式)60分

ネットワーク

モバイルシステムを構成する無線アクセスネットワーク技術、コアネットワーク技術、IP技術および移動体通信サービスなどが出題されます。

端末・アプリケーション

モバイルシステムを構成する各種端末機器の要素技術、構造と開発手法およびシステムアプリケーションの要素技術、開発手法などが出題されます。

モバイルシステム

モバイルシステム適応業務のフロー分析、最適システムの提示、システム開発管理、システム運用、システム保守および関連法規などが出題されます。

[2級]主要出題カテゴリと出題比率(%)

100問(選択式)100分

モバイルシステムの概要と移動体通信サービス

15%

ワイヤレス通信の原理とネットワーク機能

15%

モバイル端末基本機能と端末周辺技術

25%

モバイルインターネット技術の概要

20%

情報セキュリティ管理

5%

主要アプリケーションの種類とその概要

20%

◆MCPCモバイルシステム技術検定試験

SMC

1級

2級

基礎

実務

2日間の研修

- ◆プロジェクトマネジメント
- ◆事例分析と構築
- ◆最新技術

※SMC有資格者はITコーディネータ試験（専門免除）2010年～

3科目 ネットワーク
端末アプリケーション
モバイルシステム

※2級有資格者対象

40問
(合計120問)

各科目
60分
(合計180分)

モバイルシステム構成などの
技術についての基礎知識

100問

100分

携帯電話・携帯端末に関する技
術の基礎知識

60問

60分

携帯電話販売等に携わる者の、
業務上の基礎知識

60問

60分

◆ 2012年度 MCPC検定試験日程一覧

	開催日	募集期
1、2級	2012年 6月9日(土) 終了 11月10日(土)	受付終了 9月3日(月)～10月12日(金)
基礎・実務	2012年 8月 4日(土) 終了 2013年 1月12日(土)	受付終了 10月2日(火)～12月13日(木)
SMC	2012年6月29日(金)～30日(土) 終了 2012年11月30日(金)～12月1日(土)	受付終了 9月10日(月)～11月 2日(金)
IEEE WCET	(2012年春・秋終了) 2013年春季 2013年4月7日(日) ～5月4日(土)	受付終了 10月15日(月)～2013年3月8日(金)

《受検料割引》MCPC会員

対象：正会員/賛助会員/ベンチャー会員

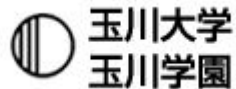
割引：2級検定 14,700円→ **10,500円**

2級検定 25,200円→ **19,950円**

◆提携教育機関一覧

【モバイルシステム技術者教育で提携している教育機関】

■玉川大学



「即戦力として活躍できるエンジニアを育てます」

<http://www.tamagawa.ac.jp/engineering/ss/index.html>

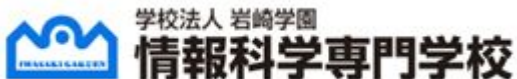
■東京電機大学



「技術は人なり。実学尊重」

<http://www.neclearning.jp/>

■情報科学専門学校



「IT技術で確かな就職・横浜のIT専門学校」

<http://www.hitachi-ia.co.jp/>

■日本電子専門学校



「あなたの思い、日本電子がつなげます。」

<http://www.hitachi-ia.co.jp/>

◆アカデミックレート

対象：大学、専門学校、生徒受検

条件：20名以上/校

会場：自校舎

受検料：基礎検定 8,400円→ **6,300円**
2級検定 14,700円→ **10,500円**

※「テキスト」割引有

◆TEXT 紹介

公式
テキスト

MCPC監修 モバイルシステム技術テキスト

書店にてお買い求めください。
書店にない場合は検定事務局にお問い合わせください。



第4版
モバイルシステム技術テキスト
エキスパート編
(モバイルシステム技術検定試験1級対応)
モバイルコンピューティング推進コンソーシアム監修

■ リックテレコム刊
■ B5判
■ 定価-3,040円(税別)

1級対応



第4版
モバイルシステム技術テキスト
(モバイルシステム技術検定試験2級対応)
モバイルコンピューティング推進コンソーシアム監修

■ リックテレコム刊
■ B5判 ■ 424頁
■ 定価-3,780円(税別)

2級対応

スマートフォン・ケータイ実務検定対応公式テキスト

『モバイル基礎テキスト』第3版<MCPC監修>



「ケータイの基礎と歴史」「ケータイのサービスと機能」「通信・通話の仕組み」に加え、「インターネットの基礎と接続」「モバイル機器の特徴」「モバイル端末のOSとソフトウェア」「モバイルコンテンツの特徴」「モバイルにおけるセキュリティ」などを理解し、「ケータイの販売に関する基礎知識」「消費者保護のための製造者・販売者の責任」「モバイル関連最新サービス」などまで、一連の情報が体系的に整理されています。

リックテレコム刊
定価 2,200円(税別)
ISBN 978-4-88757-099-4

*2012年8月実施の検定試験対応公式テキストは最新版(第3版)となります。

5月下旬から
全国有名書店
にて発売

◆テキストの特徴

1. 多彩な執筆陣と2年毎の更新

キャリア、メーカー、Siの第一線で活躍中の技術者が執筆
最新技術情報を織り込む。

2. 中立的な立場で内容を編纂

特定企業やシステムに偏らず、公平な紹介



3. モバイルシステムを体系的に紹介

専門書との違い/モバイルコンピューティングの視点:
ワイヤレス通信—モバイル端末、通信サービス……

◆高い評価

1.推薦者

NTTドコモ/加藤社長 KDDI/田中社長 ソフトバンクモバイル/孫社長
IEEE/Jack Howell (Executive Director) マイクロソフト/樋口社長
PCCAオーガナイザ/Seybold氏

2.協力者(普及に対して協力いただいている団体)

ITコーディネータ協会 電子情報技術産業協会 企業情報化協会 電波産業会
日本情報通信ネットワーク協議会 日本プロジェクトマネジメント協会
日本コンピュータシステム販売店協会 日本コンピュータソフトウェア協会

3.情報化月間第36回、情報化促進部門にて総務大臣賞受賞

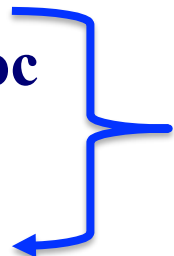
4.KDDI、D社、W社、東芝ソリューション、京セラコミュニケーション、アイ・ティー・シーネットワーク、沖電気、CTC、Sh社(部門)、システナなど他多くの会社は受検費用会社負担、一部お祝い金制度あり

5.IEEE ComSoc

KPC

CIC

の評価



◆MCPC—IEEE ComSoc (WCET)

- ・高度ICT人材育成で提携(2010年11月)
- ・WCETの日本開催日の委託を実施
(Wireless Communication Engineering Technologies)
- ・世界に通じるICT技術者
- ・世界標準のモバイル技術能力の認定
- ・日本三団体からも資格推奨

ARIB
一般社団法人 電波産業会

財団法人
日本無線協会

一般財団法人
電波技術協会

◆ IEEE ComSoc MCPC-WCET概要

(Wireless Communication Engineering Technologies)

－世界に通じるICT技術者を目指して！－

1. 米国電気・電子学会（IEEE）が実施するWireless Communicationの
高度な理論と実践に関する技術検定試験(世界共通)
対象者 研究開発者、設計者、標準仕様策定者、教育関係者など
特徴 世界に通用する資格です。
2. 受験資格 大学(または相当レベル) 卒業後3年以上の実務経験者
Web online Virtual course修了者、MCPC1級、SMC有資格者、
WCET講習会修了者、第1級陸上無線技術士、第2級陸上無線技術士
および第1級総合無線通信士(取得後 3年経過者)
3. テキストはIEEE発行のWEBOKほか30種の参考図書が提示されて
います。(7分野から165問出題)
4. 試験の実施/回数 年2回(春、秋)
試験場 東京、大阪、横浜 年2回 (CBT方式約1ヶ月オープン)
5. 申し込み MCPC 42,000円(会員) 47,000円(一般)
詳細は MCPCホームページ

◆MCPC-WCETの出題範囲(7分野)とテキスト

■出題7分野と出題比率

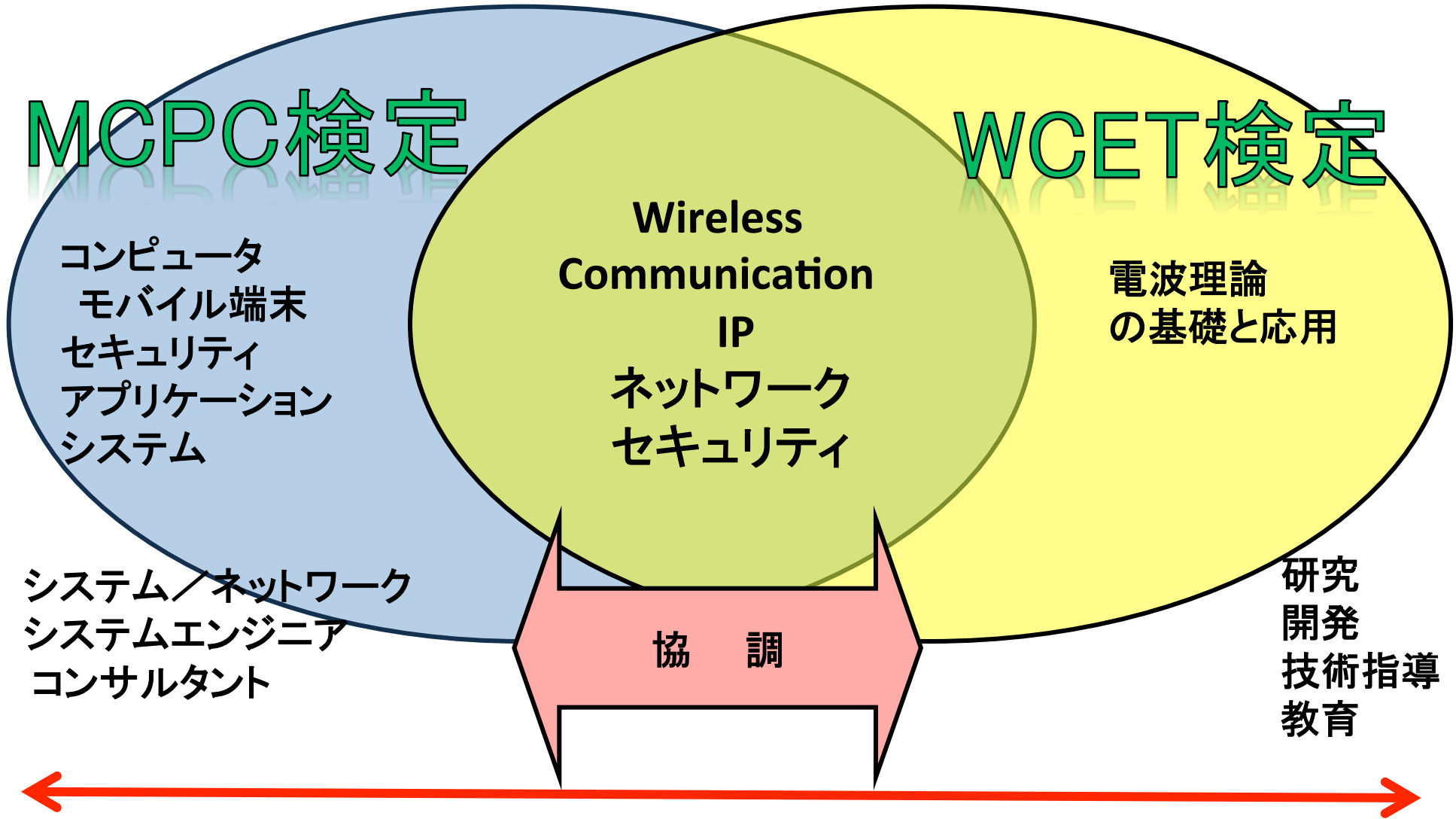
- RF技術、伝播とアンテナ 18~22%
- 無線アクセス技術 18~22%
- ネットワークとサービスアーキテクチャ 18~22%
- ネットワークマネジメントとセキュリティ 11~15%
- 設備(インフラ) 6~8%
- 合意の仕方、標準化、政策、規則 6~8%
- 基礎知識 6~8%

■WEBOK (Wireless Engineering Body of Knowledge)

7分野の技術についてのアウトラインをまとめたものである。

ここの分野別には更に詳細な資料が紹介されている。

◆MCPCモバイルシステム技術検定とIEEE WCET検定



◆日本でのWCET合格者

■合格者 9名／ 合格率 約50%

※世界に占める日本の合格者 約7%

ライセンス	合格者数	受験者数
S M C	3	9
1級	1	3
第1級陸上無線 技術士	7	10

◆ IEEE WCET 資格試験 2013年春季

世界に通じる ICT 技術者をめざして

IEEE WCET 資格試験

Wireless Communicationで
世界に飛躍する技術者として認定する
資格試験 WCET。
最高レベルのプロフェッショナルです。



試験期間 2013年4月7日(日)～5月4日(土)
試験日は好きな会場、日時を自由に選べます。IEEE WCET 認定試験は年2回(春・秋)実施されます。

試験会場 東京(中央区、港区) / 大阪 / 神奈川

試験時間 4時間:165問(4者択一形式)
※CBT方式、全て英語での出題

申込期間 2012年10月15日(月)～2013年3月22日(金)
※17:00まで(日本時間)

受験料 会員(MCPC+IEEE) 42,000円 一般 47,000円
※なお海外受験により受験料が変わる場合もあります。

受験対策セミナー [下記はいずれも有料となります]

1. IEEE ComSoc 5-Day Virtual Intensive Course
2. IEEE ComSoc Online Practice Examination (模擬試験)
3. IEEE WCET講師(外国人講師)日本語による対策セミナー/英語にて実施/3日間

なお、MCPCでは無料講習会(受験ガイダンス、試験のポイント解説)を実施致します。
※詳細なスケジュール、料金は認定事務局(電話:03-5401-1735、e-mail: mscpc@mcpc-jp.org)までお問い合わせください。

推薦 "私たちは世界に通じる高度ワイヤレスコミュニケーション技術者の育成に向けWCET資格試験を推薦します。"
一般社団法人電通産業協会 財団法人日本無線協会 一般社団法人電通技術協会

WCET試験の詳細はHandbookを参照願います。ご希望の方は事務局までお問い合わせください。

◆ IEEE    **MCPC** Wireless Communication人財養成機構 **後援:アメリカ合衆国大使館商務部**

**申し込みは
Webから!** <http://www.mcpc-jp.org/kentei/wcet/>
認定学校のお申込み、テストのご購入、受験対策講座受講に関しては、MCPC認定事務局ホームページでご確認ください。
MCPCはIEEEの認定試験機関であり、IEEEの認定試験機関として活動しています。

〒105-0011 東京都港区芝公園5-6-12 森ビルグリーンビル2階 **MCPCC 認定事務局** TEL:03-5401-1735 FAX:03-5401-9937
e-mail:msec@mcpc-jp.org

MCPCC <http://www.mcpc-jp.org/>

**ご静聴
ありがとうございました。**

